

特集 6 腎疾患におけるAIMの関与



あらい さとこ
新井 郷子

一般社団法人AIM医学研究所
副所長



みやざき とおる
宮崎 徹

一般社団法人AIM医学研究所
代表理事・所長

要旨

マクロファージが産生する分泌タンパク質であるAIMは、死細胞デブリやダメージ関連分子パターン (DAMPs) などの自己由来の炎症性物質に結合し、自らが貪食細胞に取り込まれることでそれらの除去を促進し、損傷組織の回復を促す機能を有する。これは特に急性腎障害 (AKI) 時に損傷した尿細管の回復に貢献するが、近年、IgA腎症などの他の腎疾患における関与や、腎疾患に限らないさまざまな疾患での臨床データの報告も相次いでいる。しかしながら、その解釈においては適切に考察がなされていない例も散見する。本稿では、AKI、IgA腎症におけるAIMの関与、そしてヒト患者のAIMに関する臨床データについて、筆者らの有する知見に基づき解説する。

キーワード

AIM, 急性腎障害 (AKI), IgA腎症

語句解説

対 特集
談 1

特集
2

特集
3

特集
4

特集
5

特集
6

ホット・
World News

最新
トピックス

徒然なる
ままに。